

## JR厚別駅自由通路バリアフリー化 事業概要

### 1. 事業概要

- JR厚別駅の乗降客数 5000 人以上：バリアフリー新法等におけるバリアフリー化が必要な施設  
 ⇒ H21 に JR 北海道が駅舎をバリアフリー化（エレベータ設置）  
 ⇒ 駅北側からは自由通路を経由しないと駅利用できない  
 ⇒ 自由通路のバリアフリー化が必要

### 2. 整備内容

#### ◆自由通路バリアフリー化

- ① エレベータ新設：2 基（自由通路の北南に各 1 基設置）
- ② 既設自由通路架け替え（昭和 43 年度建設、平成 2 年度一部延伸）
- ③ 拡幅（有効幅員）：2m → 3.5m

### 3. 年次計画（予定）

- H21 JR 北海道で駅構内にエレベータ設置  
 H23 予備設計  
 H24 自由通路実施設計  
 H25 駐輪場実施設計  
 H26～ 南口駅前広場駐輪場整備工事、駅北側駐輪場整備工事  
 新自由通路本体工事（札幌市及び JR 委託）工事期間は 3～4 年程度になる見込み  
 新通路（橋）を設置後、既設通路（橋）を撤去（工事期間中も西口改札を利用できますが、通路と改札口の接続工事時、一時的に西口改札が利用できない時期が想定されます）  
 H28 自由通路供用開始予定

施設配置図



位置図



詳細位置図



自由通路・西口改札接続部（段差あり）



新自由通路設置予定箇所（既設橋の脇に架替）



北側エレベータ設置予定箇所



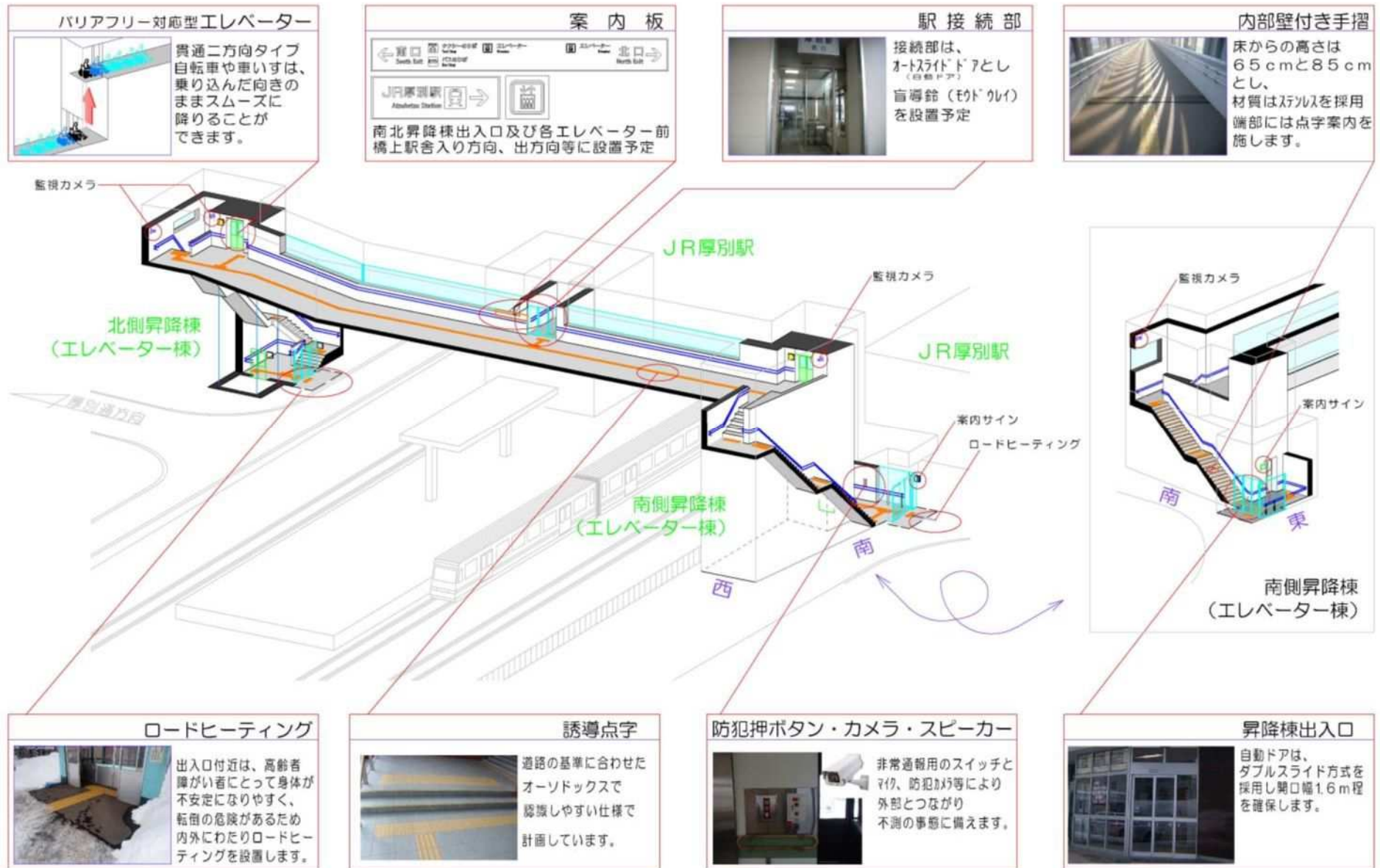
南側エレベータ設置予定箇所



完成イメージ



整備イメージ（JR 平和駅柏山人道橋より）



※ 記載写真や図面は参考です。実際に採用される製品・形状・色・取り付け箇所等を示した物ではございません。  
※ 記載内容は、平成28年1月現在のもので、設計や工事・製品供給状況等により変更になる場合がございます。



